

戦気 NO-16

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 こんごちゃんです!



4月29日

第8回 三谷大和スポーツジム スパーリング大会開催!!

4月29日(祝)、千葉県八千代市村上の『アースメイト』において「第8回 三谷大和スポーツジム スパーリング大会」が開催されました。

当日はゴールデンウィーク初日で雲ひとつなく晴れ上がった野外特設リングに参加30ジム、69試合が午前10時から午後6時半まで熱い熱い戦いが展開されました。

一般の部は30試合、中学生の部は8試合、女子の部が9試合、オヤジの部が4試合、最後に小学生の部が18試合という長い長いスパーリング大会でした。

司会進行は後楽園ホールのリングアナウンサーでおなじみの日本ボクシング協会の**富樫さん**が『昭和46年会』の一員としてボランティア参加で大会を大いに盛り上げました。



富樫さん

開会挨拶で**三谷大和会長**は、第1回大会の最優秀選手が昨年の全日本新人王を獲得しMVPに選ばれたことを話し、この大会に参加している選手がどんどん強くなっていき、拳と拳を交えた拳友として仲良くやって欲しいと挨拶。

大会ルール説明を昨年全日本新人王の**三谷ジムの鬼ヶ島竜**がアマチュアルールの適用とスポーツマンシップに則って正々堂々と戦うこと。また新たにレフリーより強い権限を持つジュリー席を設け危険と判断したら試合をストップする制度を導入したことを説明しました。

モラル説明では**イマオカジムの今回会長**から選手及び応援者に対して、挨拶、声援、会場使用マナーの3点を確認し、今大会が素晴らしいものになるようお願いの配慮を訴えました。



大勢の観客の声援で小学生も元気に戦いました

元世界チャンプを相手のマスボクシング

一般の部の30試合が終了し女子の部に入る前に現役の世界ランカー嶋田雄大選手と元世界チャンピオンの佐藤修さんがそれぞれ小学生の二人づつとマスボクシングを行い、子どもたちは大喜びでパンチを出していました。



嶋田雄大さん



佐藤修さん

女子の部も熱戦が続く

ボクシングで20kgのダイエットに成功した藤又選手は二人の小学生と共に親子で参加。中学1年生の斉藤選手はMVPを獲得し今後がんばるとメッセージを出し、芥川賞作家の荻野安奈選手は52歳で青春のリングに立ちました。

現世界チャンプの粟生選手、静ちゃんも登場



現WBC世界フェザー級チャンピオンの粟生隆寛選手もリングに上がりインタビューに答え、『南海キャンディーズ』の静ちゃんは2ラウンドのスパーリングを行いました。

閉会式では成績発表と選手表彰、**大会評価**をボックスファイの**飯田会長**が述べ、**今回会長が閉会の言葉**をまとめた頃は試合同様に熱かった太陽も静かに西の空に沈んでいました。大会に参加されたみなさん、本当にお疲れ様でした。

日頃の練習成果を出す熱戦が続く

スパーリング大会にはプロ選手は出場できません。ボクシングの楽しさ、面白さを確認し、底辺を広げるためのアマチュアの大会です。練習ばかりではなく、その成果を確認するために試合を行います。ですから勝つことだけが目的の大会ではありません。勝った人も負けた人も思いっきり戦っています。



こんごちゃんは見た!!



敗北したときに大切なのは原因に目を向けることです。敗北の事実^にに氣落ちしていてもプラスにはなりません。敗北の原因は必ず自分にある。敗北の原因を追究し二度と同じ敗北を繰り返さないようにすることで、敗北は絶好の学びの契機、成長の糧になります。何が敗北の原因なのか? どうすれば良くなるのか? 敗北に対する建設的な反省は自らをよりよくする大きな原動力です。敗北から学んだことを活かす思考と行動力が大切なのです。明日に向かって前進しよう!

編集後記

テレビのお笑い番組を見ていたら「あなたのライバルは誰ですか?」という質問に「昨日の自分です」と答えた芸人がいました。厳しい生存競争を勝ち抜くには他人との戦いではなく自分自身との戦いであることをサラリと言っていました。至言だと思います。